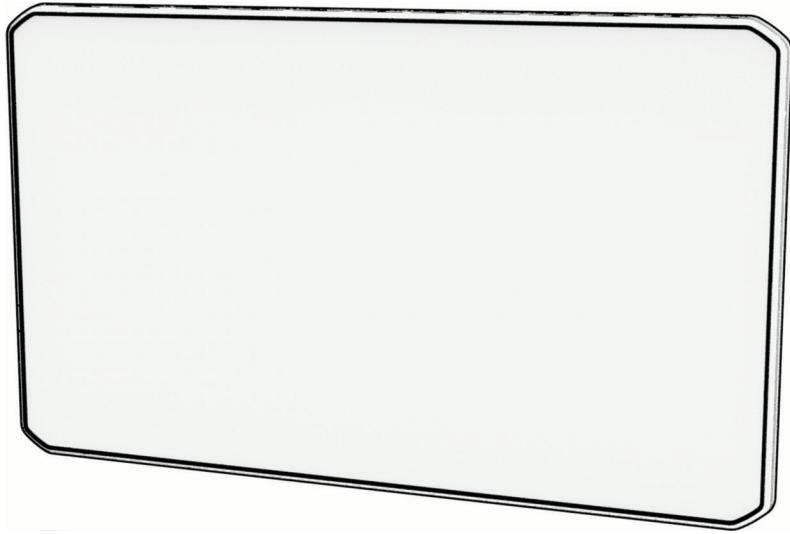


**GARMIN**<sup>®</sup>



# RVCAM 795 / CAMPERCAM 795 / AVTEX<sup>®</sup> TOURER THREE PLUS

---

## 操作マニュアル

© 2022 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、[www.garmin.com](http://www.garmin.com) を参照してください。

Garmin®および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、Garmin Drive™、Garmin Express™、Garmin PowerSwitch™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。Avtex®は Avtex Limited の登録商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare® は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Pilot Flying J™と Pilot Flying J Travel Centers™は、Pilot Travel Centers LLC およびその関連会社の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Ultimate Campgrounds は、The Ultimate Public Campground Project の商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

# 目次

はじめに .....	1
Garmin®デバイスの概要 .....	1
ダッシュカーナーのメモリカードを挿入する .....	2
取り付けに関する注意事項 .....	2
車両への Garmin デバイスの取り付けと電源供給 .....	3
デバイスの電源をオンまたはオフにする .....	4
GPS 信号を捕捉する .....	5
ステータスバーアイコン .....	5
オンスクリーンボタンを使用する .....	5
音量を調整する .....	6
オーディオミキサーを使用する .....	6
画面の輝度を調整する .....	6
車両プロファイル .....	6
車両プロファイルを追加する .....	6
環境ゾーン車両プロファイルの追加 .....	7
乗用車プロファイル .....	7
車両プロファイルの切り替え .....	7
車両プロファイルを編集する .....	7
プロパンタンクを追加する .....	7
ダッシュカーナー .....	8
カメラの位置を合わせる .....	8
ダッシュカーナーによる録画 .....	8
ダッシュカーナーの録画の保存 .....	8
ダッシュカーナーによる録画を停止 / 開始する .....	8
オーディオの録音をオンまたはオフにする .....	9
ビデオや写真を表示する .....	9
コンピュータ上のビデオ .....	9
ビデオまたは写真を削除する .....	9
Vault ストレージ .....	9
Vault サブスクリプションのアップグレード .....	9
ビデオを共有する .....	10
ビデオの編集とエクスポート .....	10
共有ビデオリンクを無効化 .....	10
Vault からのビデオの削除 .....	10
音声作動機能 .....	10
音声コマンドのヒント .....	11

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動 .....	11
ナビゲーションを開始する .....	11
音声を使用して電話をかける .....	12
音声を使用してデバイス設定を変更 .....	12

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート .....	13
ドライバーアラートを有効または無効にする .....	13
赤信号カーナーとスピードカーナー .....	14
高度運転者支援システム .....	14
前方衝突警告システム .....	14
車線逸脱警告システム .....	15
警告およびアラート記号 .....	16
制約に関する警告 .....	17
道路状況に関する警告 .....	17
アラート .....	18

位置の検索と保存を行う .....	18
検索バーを使用して位置を検索する .....	18
人気スポット .....	19
人気スポット検索を実行する .....	19
住所を検索する .....	19
場所検索の結果 .....	19
検索エリアを変更する .....	20
ジャンル別施設 .....	20
カテゴリーを入力して位置を検索する .....	20
キャンプ場の検索 .....	21
RV 駐車場を検索する .....	21
RV サービスを検索する .....	21
国立公園を検索する .....	21
Foursquare® .....	22
Tripadvisor .....	22
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする .....	22
検索ツール .....	23
交差点を検索する .....	23
座標を使用して位置を検索する .....	23
最近検索した位置を表示する .....	23
最近検索した場所のリストを消去する .....	23
現在地情報を表示する .....	23
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する .....	23
現在地への道順を表示する .....	24

ショートカットを追加する .....	24	この先の都市や出入口サービスの表示 .....	33
ショートカットを削除する .....	24	トリップ情報 .....	33
位置を保存する .....	24	地図からトリップデータを表示する .....	33
位置を保存する .....	24	トリップデータを表示する .....	34
現在地を保存する .....	24	トリップ情報をリセットする .....	34
保存した位置を編集する .....	24	進行方向の交通事故を表示する .....	34
保存した位置にカテゴリーを割り当てる .....	25	地図上に交通渋滞情報を表示する .....	35
保存した位置を削除する .....	25	交通事故情報を検索する .....	35
<b>ルートに従う .....</b>	<b>25</b>	地図をカスタマイズする .....	35
ルート .....	25	地図レイヤーをカスタマイズする .....	35
ナビゲーションを開始する .....	25	地図データフィールドを変更する .....	35
地図を使用してナビゲーションを開始する .....	26	地図表示方法を変更する .....	35
ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する .....	26		
帰宅する .....	26		
ルート探索方法を変更する .....	26		
地図上のルート .....	27		
アクティブ車線案内 .....	28		
方向転換と方向指示を表示する .....	28		
地図にルート全体を表示する .....	28		
目的地に到着する .....	28		
アクティブルートを変更する .....	29		
ルートに場所を追加する .....	29		
ルートを形成する .....	29		
迂回路を検索する .....	29		
ナビゲーションを停止する .....	29		
推奨ルートを利用する .....	30		
遅延、有料道路、およびエリアを回避する .....	30		
ルート上の交通遅延を回避する .....	30		
有料道路を回避する .....	30		
道路の回避機能 .....	30		
ルート上の環境ゾーンを回避する .....	30		
カスタム回避 .....	30		
<b>地図を使用する .....</b>	<b>31</b>		
地図ツール .....	32		
地図ツールを表示する .....	32		
この先 .....	32		
この先の場所を表示する .....	32		
[ この先 ] カテゴリーをカスタマイズする .....	33		
次の都市まで .....	33		
		<b>トライック .....</b>	<b>41</b>
		スマートフォンを使用してトライックデータを受信する .....	41
		トライックを有効にする .....	41
		<b>アプリケーションを使用する .....</b>	<b>41</b>

デバイスのマニュアルの表示 .....	41	時間を設定する .....	52
天気予報を表示する .....	41	言語およびキーボード設定 .....	52
別の都市周辺の天気を表示する .....	42	デバイスおよびプライバシー設定 .....	52
気象観測レーダーを表示する .....	42	設定を初期化する .....	53
気象警報を表示する .....	42	<b>デバイス情報.....</b>	<b>53</b>
道路状況を確認する .....	42	E ラベルの規制およびコンプライアンス 情報の表示 .....	53
ルートプランナー .....	42	仕様 .....	53
ルートを計画する .....	42	デバイスを充電する .....	53
ルートの場所を編集および並べ替え る .....	43	<b>デバイスのメンテナンス.....</b>	<b>53</b>
ルートのルートオプションを変更す る .....	43	Garmin サポートセンター .....	53
保存したルートまでナビゲーションす る .....	43	地図やソフトウェアの更新 .....	53
アクティブルートを編集および保存す る .....	43	Wi-Fi ネットワークへの接続 .....	54
ロイヤルティプログラム .....	43	Wi-Fi ネットワークの使用による地図 とソフトウェアの更新 .....	54
サービス履歴をログに記録する .....	44	Garmin Express による地図とsoft ウェアの更新 .....	55
サービスカテゴリーを追加する .....	44	デバイスのお手入れ .....	56
サービスカテゴリーを削除する .....	44	外側ケースのクリーニング .....	56
サービスカテゴリーの名前を変更す る .....	44	タッチスクリーンのクリーニング .....	56
サービスの記録を編集する .....	44	カメラレンズのクリーニング .....	57
サービスの記録を削除する .....	44	盗難防止 .....	57
Garmin PowerSwitch™ アプリ .....	45	デバイスを再起動する .....	57
電源スイッチの有効化 .....	45	デバイス、マウント、吸着力アップを取り 外す .....	57
すべてのスイッチをオフにする .....	45	マウントからデバイスを取り外す ... ..	57
ボタンのカスタマイズ .....	46	吸盤からマウントを取り外す .. ..	57
スイッチを制御入力へ割り当てる ...	46	フロントガラスから吸着力アップを取り 外す .. ..	57
カスタムレイアウトの追加 .....	46		
ルーチン .....	47		
<b>設定.....</b>	<b>48</b>	<b>トラブルシューティング.....</b>	<b>57</b>
地図および車両設定 .....	48	録画したビデオがぼやけている .....	57
地図を有効にする .....	49	録画したビデオが途切れる / 不完全 ...	58
ナビゲーション設定 .....	49	メモリカードが劣化して、交換する必要 がある .....	58
シミュレートされた場所を設定す る .....	49	吸盤がフロントガラスに取り付けられな い .....	58
ワイヤレスネットワーク設定 .....	50	デバイスで衛星信号を受信できな... ..	58
運転者支援の設定 .....	50	デバイスを車両で充電できな... ..	58
近接アラート設定 .....	50	充電しても電池の電力が長持ちしな い .....	59
ダッシュカameraの設定 .....	51	デバイスがスマートフォンに接続されま せん .. ..	59
ワイヤレスカamera設定 .....	51		
バックアップカamera設定 .....	51		
ディスプレイ設定 .....	51		
トラフィック設定 .....	52		
単位および時間設定 .....	52		
		<b>付録.....</b>	<b>59</b>

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	59
データ管理	59
メモリカードについて	59
ダッシュカーナビゲーション用メモリーカードのフォーマット	60
デバイスをコンピュータに接続する	60
コンピュータからデータを転送する	60
USB ケーブルを取り外す	60
GPS 信号ステータスを表示する	60
追加の地図を購入する	60
アクセサリーを購入する	61
欧州排出ガス基準	61
Garmin PowerSwitch	61
取り付けに関する注意事項	61
デバイスの取り付け	61
前面カバーを開く	62
アクセサリーの接続	63
制御入力の接続	63
デバイスを車両電源に接続する	64
Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング	64
Garmin PowerSwitch 仕様	65
トラブルシューティング	65

# はじめに

## △ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- ・ カメラのメモリーカード(ダッシュカムのメモリカードを挿入する, 2 ページ)を取り付けます。
- ・ デバイスで地図とソフトウェアを更新します(地図やソフトウェアの更新, 53 ページ)。
- ・ デバイスを車両に取り付けて電源に接続します(車両への Garmin デバイスの取り付けと電源供給, 3 ページ)。
- ・ ダッシュカムの位置を合わせます(カメラの位置を合わせる, 8 ページ)。
- ・ GPS 信号を捕捉します(GPS 信号を捕捉する, 5 ページ)。
- ・ 音量を調整し(音量を調整する, 6 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します(画面の輝度を調整する, 6 ページ)。
- ・ 車両プロファイルを設定します(車両プロファイルを追加する, 6 ページ)。
- ・ 目的地までナビゲーションします(ナビゲーションを開始する, 25 ページ)。

## Garmin®デバイスの概要



①	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク
②	電源キー
③	USB 電源およびデータポート
④	カメラのメモリカードスロット
⑤	地図およびデータメモリカードスロット

## ダッシュカメラのメモリカードを挿入する

デバイスで内蔵のダッシュカメラからビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります。カメラには、8~512 GB、速度レートクラス 10 以上の microSD® メモリーカードが必要です。付属のメモリカードを使用するか、家電販売店から互換性のあるメモリカードを購入して使用することができます。

注：メモリカードは同梱されているため、デバイスを箱から取り出して、すぐに使用することができます。すべてのメモリカードには寿命があり、定期的に交換する必要があります。メモリカードが耐用期間を超過し、交換の必要がある場合は、デバイスに警告が表示されます。トラブルシューティングのヒントに従うと、メモリーカードの耐用期間を延長することができます（[メモリカードが劣化して、交換する必要がある](#)、58 ページ）。

- 1 カメラのメモリーカードスロット②にメモリーカード①を挿入します。

注：間違ったスロットにメモリーカードを挿入すると、カメラでビデオを録画できません。



- 2 カチッと音がするまで押し込んでください。

## 取り付けに関する注意事項

- ドライバーが道路見えにくくなるような場所にはデバイスを取り付けないでください。

### ⚠️ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

- 電源ケーブルを安全に配線できる場所を選択します。

### ⚠️ 警告

デバイスを車両に取り付けるときは、デバイスと電源ケーブルをしっかりと取り付けて、車両の操作制御に干渉しないようにします。車両の操作制御に干渉すると、衝突が発生して、負傷または死亡につながるおそれがあります。

- デバイスが音声をはっきりと聞き取れる場所を選択します。  
デバイスをスピーカーや通気孔の近くに置かないでください。これらはマイクに干渉するノイズを発生する可能性があります。
- 手が届きやすい場所を選択してください。
- ダッシュカメラから道路をはっきりと見渡せる場所を選択します。  
車両のフロントガラスのワイパーがダッシュカメラの前のフロントガラスエリアにないことを確認し、フロントガラスのスモーク部の後ろにダッシュカメラを配置しないようにしてください。
- マウントを取り付ける前に、フロントガラスを十分に清掃します。

## 車両への Garmin デバイスの取り付けと電源供給

### ⚠️ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー①をフロントガラスの方に倒します。



- 車両電源ケーブルをデバイスの USB ポート②に差し込みます。



- 3 車両電源ケーブルのもう一方の端③を車両の電源コンセントに差し込みます。
- 4 マウントの下部にあるタブをデバイスの背面にあるスロット④に合わせ、カチッと音がするまでデバイスをマウントに押し込みます。



## デバイスの電源をオンまたはオフにする

- ・ デバイスの電源をオンにするには、電源ボタン①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- ・ デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。  
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- ・ デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを押し続け、オフを選択します。  
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

## GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

## ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます ( <a href="#">GPS 信号ステータスを表示する, 60 ページ</a> )。
	Bluetooth® テクノロジのステータス選択して Bluetooth 設定 ( <a href="#">ワイヤレスネットワーク設定, 50 ページ</a> ) を表示します。
	Wi-Fi® 信号強度。選択して Wi-Fi 設定を変更します ( <a href="#">ワイヤレスネットワーク設定, 50 ページ</a> )。
	ハンズフリー通話に接続済み電話をかけるときに選択します ( <a href="#">ハンズフリー通話, 39 ページ</a> )。
	アクティブな車両プロファイル。車両プロフィールの設定を表示するときに選択します ( <a href="#">車両プロフィールを編集する, 7 ページ</a> )。
<b>9:10</b>	現在の時刻選択して時刻を設定します ( <a href="#">時間を設定する, 52 ページ</a> )。
	バッテリー充電レベル
	Garmin Drive™ アプリの接続ステータス ( <a href="#">スマートフォンとペアリングする, 36 ページ</a> )。
<b>53 °</b>	温度天気予報を表示するときに選択します ( <a href="#">天気予報を表示する, 41 ページ</a> )。
	ダッシュカムの録画ステータスダッシュカムのコントロールを開くときに選択します。

## オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニュー オプションを操作できます。

- ・  を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- ・  を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
- ・  または  を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- ・  または  を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- ・  を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

## 音量を調整する

- 1 を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・スライダーべーを使用して、音量を調整します。
  - ・デバイスをミュート(消音)にするには、を選択します。
  - ・チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

## オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

- 1 を選択します。
- 2 オーディオミキサーを選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

## 画面の輝度を調整する

- 1  > ディスプレイ > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーべーを使用して、輝度を調整します。

## 車両プロファイル

### 警告

車両のプロフィール特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力した他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

## 車両プロファイルを追加する

お使いのデバイスで使用する各キャンパーの車両プロフィールを追加してください。

- 1 ステータスバーから、 または などの車両プロフィールアイコンを選択します。
- 2 を選択します。
- 3 車両タイプを選択します：
  - ・キャンパーに完全に接続してモーターホームを追加するには、モーターホームを選択します。
  - ・トレーラーを牽引するモーターホームを追加するには、トレーラー付きモーターホームを選択します。
  - ・乗用車の後ろに牽引するキャンパーを追加するには、トレーラーありを選択します。
- 4 必要に応じて、トレーラータイプを選択します：
  - ・標準連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、トラベルトレーラーを選択します。
  - ・フィフスホイール連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、フィフスホイルトレーラーを選択します。  
注：このトレーラータイプは利用できない地域もあります。
  - ・標準連結装置で牽引するボートトレーラーを追加するには、ボートトレーラーを選択します。
  - ・標準連結装置で牽引するトレーラーを追加するには、トレーラーを選択します。
- 5 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロフィールを追加した後で、プロフィールを編集して、追加の詳細情報を入力できます（車両プロファイルを編集する、7ページ）。

## 環境ゾーン車両プロフィールの追加

燃料タイプや排出ガス基準など、この車両専用の環境ゾーン設定の車両プロフィールを追加できます。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

1  > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。

2 画面に表示される手順に従います。

## 乗用車プロファイル

乗用車プロファイルは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロファイルです。乗用車プロファイルを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロファイルを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

## 車両プロファイルの切り替え

別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

1 ステータスバーから  や  などの車両プロファイルアイコンを選択します。

2 車両プロファイルを選択します。

測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。

3 選択を選択します。

## 車両プロフィールを編集する

基本的な車両プロフィール情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロフィールに追加できます。

1  > 車両プロファイルの順に選択します。

2 編集する車両プロフィールを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・ 車両プロフィール情報を編集するには、 を選択し、編集するフィールドを選択します。
- ・ 車両プロフィールの名前を変更するには、 >  > プロファイル名の変更の順に選択します。
- ・ 車両プロフィールを削除するには、 >  > 削除の順に選択します。

## プロパンタンクを追加する

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

車両プロファイルにプロパンタンクを追加すると、デバイスは、ルートに影響する可能性があるプロパンタンクの制限のある区域の通過を回避します。また、デバイスは、プロパンタンクを遮断する必要のある区域に近づいたときにも警告を出します。

1 車両プロフィールから、 > タンクを追加を選択します。

2 プロパンタンクの重量を入力し、OKを選択します。

# ダッシュカメラ

## カメラの位置を合わせる

### △ 警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。注意が散漫になり、事故につながって重傷を負ったり死亡する可能性があります。

カメラの位置が合っていないと、高度運転者支援機能が正しく機能しない場合があります。ダッシュカメラを取り付けたり配置を変更するたびに、その位置合わせを行う必要があります。

- 1  > カメラ > 取り付け位置の順に選択します。
- 2 取り付け位置を選択し、フロントガラスのデバイスの横方向の位置を選択します。
- 3 車高を選択し、車両タイプを選択します。
- 4 整列を選択します。
- 5 デバイスを傾けて、カメラを左または右に回転させ、カメラの位置合わせを行います。  
カメラがまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

## ダッシュカメラによる録画

### 注記

一部の管轄区域では、音声や映像の記録、写真撮影を禁止または規制している場合があります。管轄区域では、すべての関係者が記録についての知識を持ち、音声や映像の記録または写真撮影を行う前に同意の提供を求められる場合があります。管轄区域のすべての法律、規制、およびその他の制限事項を把握し、これに従う責任はお客様にあります。

ダッシュカメラはビデオをカメラのメモリーカードに記録します ([ダッシュカメラのメモリカードを挿入する, 2 ページ](#))。デフォルトでは、デバイスをオンになるとすぐにビデオ録画を開始し、オフになるまで録画を続けます。メモリーカードがいっぱいになると、デバイスは未保存の最も古いビデオを自動的に削除して、新しいビデオ用のスペースを確保します。

未保存のビデオをすぐに削除するオプションを有効にすると、デバイスは 3 分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除します。この機能はカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定, 51 ページ](#))。

ビデオ録画を保存して、上書きまたは削除されないようにすることができます。

## ダッシュカメラの録画の保存

新しいビデオで上書きされないように、録画済みのビデオの一部を保存できます。デフォルトでは、デバイスはセンサを使用して偶発的な衝突の可能性を検出し、検出したイベントの前、最中、および後のビデオ映像を保存します。ビデオはいつでも手動で保存することもできます。

- 1 ダッシュカメラの録画中に、**カメラ** >  を選択します。  
デバイスは、 を選択する前、最中、および後のビデオ映像を保存します。
- 2  を再度選択すると、保存される録画時間を延長できます（オプション）。  
ビデオが保存されていることを示すメッセージが表示されます。

メモリカードの記録容量には限りがあります。ビデオ録画を保存したら、コンピュータなどの外部ストレージの場所に転送して、永続的に保管する必要があります ([コンピュータ上のビデオ, 9 ページ](#))。

## ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する

- 1 カメラを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 録画を停止するには、 を選択します。  
**ヒント**：デフォルトでは、デバイスを次回オンにすると、録画は自動的に開始されます。このオプションはカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定, 51 ページ](#))。
  - ・ 録画を開始するには、 を選択します。

## オーディオの録音をオンまたはオフにする

### 注記

一部の管轄区域では、車内での音声録音を禁止していたり、車内で音声を録音する前に、すべての乗客が録音について認識して同意することを要求している場合があります。お客様の責任において、管轄区域の法律と制限をすべて認識し、それを遵守する必要があります。

このデバイスでは、ビデオの録画中に内蔵のマイクを使用してオーディオを録音できます。オーディオの録音はいつでもオンまたはオフにすることができます。

 > カメラ > 録音するを選択します。

## ビデオや写真を表示する

注：ビデオや写真の再生中は、ビデオの録画が停止されます。

1 写真の選択 > はいを選択します。

2 ビデオまたは写真を選択します。

デバイスにビデオまたは写真が表示されます。ビデオの再生は自動的に始まります。ビデオまたは写真に位置情報が含まれる場合は、地図にその位置が表示されます。

## コンピュータ上のビデオ

メディアは、カメラのメモリーカードの DCIM フォルダに保存されます。ビデオは MP4 ファイル形式で保存され、写真は JPG 形式で保存されます。メモリーカードまたはデバイスをコンピュータに接続すると、メディアを表示したり転送したりできます ([デバイスをコンピュータに接続する](#), 60 ページ)。

メディアが複数のフォルダに分類されます。

**100EVENT:** デバイスによるインシデント検出時に自動保存されたビデオが格納されます。

**101PHOTO:** 写真が格納されます。

**102SAVED:** ユーザーが手動で保存したビデオが格納されます。

**105UNSV:** 未保存のビデオ映像が格納されます。未保存のビデオのストレージ容量が不足すると、最も古い未保存のビデオが上書きされます。

## ビデオまたは写真を削除する

1 写真の選択 > はいを選択します。

2 ビデオまたは写真を選択します。

3  > はいの順に選択します。

## Vault ストレージ

注：この機能はすべての国で利用できるわけではありません。

Vault を使用して、安全なオンラインストレージドライブにダッシュカーナーの映像をアップロード、管理、共有できます。ダッシュカーナーは、Wi-Fi ネットワークに接続されている間、保存されたビデオを Vault に自動的にアップロードします。

Garmin Drive アカウントを使用すれば、ビデオを最大 24 時間まで Vault に保存できます。保管できるデータ量にサイズ制限はありません。お使いのスマートフォンの Garmin Drive アプリからオプションの Vault サブスクリプションを購入すると、保管時間を延長できます。

注：この機能を使用するには、ダッシュカーナーが Wi-Fi ネットワークに接続されている必要があります。

## Vault サブスクリプションのアップグレード

オプションの Vault サブスクリプションを購入すると、保管時間を延長できます。

1 スマートフォンの Garmin Drive アプリから、 > Vault アクセス > さらに時間が必要ですか？を選択します。  
2 画面に表示される手順に従います。

## ビデオを共有する

Vault から、ダッシュカムラビデオへの安全なリンクを共有できます。

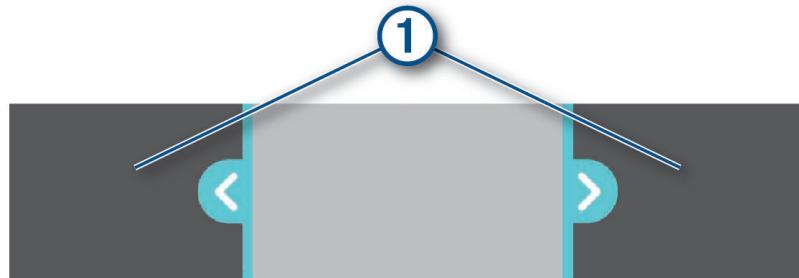
- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、Vault を選択します。
- 2 ビデオを選択し、**安全な共有**を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

## ビデオの編集とエクスポート

ビデオを Vault にエクスポートする前に、ビデオの長さをカットして不要な映像を削除できます。

注： Vault に保存されているビデオはトリムできません。

- 1 ビデオの表示中に、ビデオ進行状況バーのトリミングハンドル ① を左右にドラッグして、ビデオの長さをトリミングします。



- 2 オーディオを含めるチェックボックスをオンにして、録音されたオーディオを含めます（オプション）。

- 3 >を選択するか、エクスポートを選択します。

注：ビデオのエクスポート中は、アプリを前面に表示しておく必要があります。

アプリは、トリミングされたビデオを Vault にエクスポートし、スマートフォンに保存します。

- 4 ビデオのエクスポートが完了したら、オプションを選択します（オプション）。

- ・ カメラのメモリーカードからビデオを削除するには、**カメラから削除**を選択します。
- ・ ギャラリーに戻るには、>を選択するか、完了を選択します。

## 共有ビデオリンクを無効化

Vault から以前に共有したビデオへのリンクを無効にすることができます。共有ビデオリンクを無効にすると、ビデオは非公開に設定され、共有リンクとパスコードが無効になります。

- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、Vault を選択します。

- 2 ビデオを選択し、リンクを無効にする > 続行を選択します。

## Vault からのビデオの削除

- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、Vault を選択します。

- 2 ビデオを選択し、{0}から削除する > 続行を選択します。

## 音声作動機能

### ⚠ 警告

Garmin デバイスでは自然言語処理を使用して、口頭でのリクエストの意図を理解します。完全なセンテンスを使用して、自然言語で質問したり、コマンドを発声できます。マニュアルには多くのフレーズ例が記載されていますが、最も使いやすい言語でデバイスに話しかけて試すことができます。

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、場所や住所を検索したり、進路変更指示によるルートを開始したり、ハンズフリー通話を発信できます。Garmin 音声案内ナビゲーションを起動するには、OK, Garmin に続けてリクエストを発声します。

注：この機能を利用できない製品モデルまたは言語があります。

## 音声コマンドのヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 必要に応じて、デバイスからの案内に応答します。

## Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。  
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
  - OK, Garmin, take me home.
  - OK, Garmin, where's the library?

## ナビゲーションを開始する

### 保存した場所に音声で移動

保存した場所に移動するときは、Garmin デバイスでルートを開始すると便利ですが、すでに行き方がわかっている場合もあります。デバイスを使用すると、ルートに影響を与える可能性のある交通渋滞や工事を回避できます。

次のようなフレーズを発声すると、保存した場所へのルートを開始できます ([位置を保存する, 24 ページ](#))。

- OK, Garmin, take me home.
- OK, Garmin, take me to work.
- OK, Garmin, start a route to school.

### 音声を使用して住所へ移動する

以下のようなフレーズを発声すると、近くの住所や特定の都市の住所へのルートを開始できます。

- OK, Garmin, take me to One Garmin Way.
- OK, Garmin, start a route to twelve hundred East 151st Street in Olathe, Kansas.

### 音声を使用して会社または名前付きの場所に移動する

以下のようなフレーズを発声すると、名前またはカテゴリで会社または場所を検索してナビゲートできます。

#### 近くの場所

- OK, Garmin, find a coffee shop.
- OK, Garmin, where's the library?
- OK, Garmin, take me to Starbucks.

#### 別の都市に近い場所

- OK, Garmin, find Mexican food near Denver, Colorado.
- OK, Garmin, find The Field Museum near Chicago, Illinois.
- OK, Garmin, find Casa Bonita near Denver, Colorado.

#### 交差点の近くの場所

- OK, Garmin, find barbecue near 12th Street and Vine Street.
- OK, Garmin, find Arthur Bryant's Barbecue near 12th Street and Vine Street.

### 音声で都市または交差点に移動

以下のようなフレーズを発声すると、都市や交差点を検索して移動できます。

- OK, Garmin, find Chandler, Arizona.
- OK, Garmin, find Michigan Avenue and Erie Street.

## **到着時刻の確認**

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

*OK, Garmin, what time will we arrive?*と話しかけます。

## **音声を使用してルートを停止する**

次のようなフレーズを発声すると、ルートのナビゲーションを停止できます。

- *OK, Garmin, stop the route.*
- *OK, Garmin, stop navigating.*

## **音声コマンドを使用したカメラの制御**

1 音声制御機能を有効にするには、**OK Garmin** と発話します。

カメラからトーン音が鳴り、コマンドの聞き取りが開始されます。

2 コマンドを発話してください。

- ビデオを保存するには、**Save Video** と発話します。
- 写真を撮るには、**Take a Picture** と発話します。

コマンドが認識されると、カメラからトーン音が鳴ります。

## **音声を使用して電話をかける**

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

*OK, Garmin, call* と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、*OK, Garmin, call Mom.*と言います。

## **音声を使用してデバイス設定を変更**

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- *OK, Garmin, increase the volume.*
- *OK, Garmin, set the volume to 0.*
- *OK, Garmin, set the volume to 9.*
- *OK, Garmin, decrease the brightness.*
- *OK, Garmin, set the brightness to 5.*

# ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

## △ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

**学校:** デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度（ある場合）を表示します。

**制限速度超過:** 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

**制限速度低下:** デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

**一方通行を逆走しています:** 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

**踏切:** デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

**動物出没:** デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

**カーブ:** デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

**渋滞:** 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります（[トラフィック](#), 41 ページ）。

**工事ゾーン:** 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

**車線閉鎖:** 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

**休憩の計画:** 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

**接地の危険あり:** 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**つづら折れ:** つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**道幅減少:** 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**急な下り坂:** 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**州および国の境界:** 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**プロパンをオフにする:** プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**前方衝突警告:** デバイスは、前方の車両との安全な車間距離を維持していない場合に警告を出します。

**車線逸脱警告:** デバイスは、意図せず車線境界を越えている可能性があることを検出すると、警告を出します。

## ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

1  > 安全運転支援 > ドライバーアラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

# 赤信号カメラとスピードカメラ

## 注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア ([garmin.com/express](http://garmin.com/express)) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

## 高度運転者支援システム

このデバイスは高度運転支援システム (ADAS) を搭載しています。このシステムは、内蔵のダッシュカメラを使用して、運転環境に関する警告やアラートを出します。

安全運転支援設定 ([運転者支援の設定, 50 ページ](#)) で、各高度運転支援システム機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

## 前方衝突警告システム

### △ 警告

前方衝突警告システム (FCWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。FCWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、[garmin.com/warnings](http://garmin.com/warnings) を参照してください。

FCWS 機能は、自車と前走車の間に安全な車間距離がないことをデバイスが検出すると警告を発します。このデバイスは、GPS を使用して車速を判定し、車速に基づいて推定される安全な追従距離を計算します。FCWS は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えると自動的に作動します。

前走車に近すぎることをデバイスが検出すると、デバイスが警告音を鳴らして、画面に警告が表示されます。



Forward Collision Warning

## 前方衝突警告システムの性能に関するヒント

前方衝突警告システム (FCWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。条件によっては、FCWS 機能で前方の車両を検出できないことがあります。

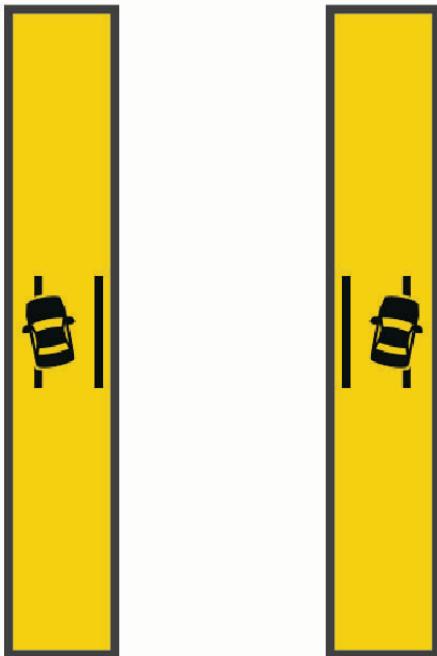
- FCWS 機能は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えた場合にのみ作動します。
- FCWS 機能は、車載カメラの視界が雨、霧、雪、太陽やヘッドライトの眩しさ、または暗さにより遮られると、前方の車両を検出できないことがあります。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、FCWS 機能は正しく機能しないことがあります ([カメラの位置を合わせる, 8 ページ](#))。
- FCWS 機能では、40 m (130 ft.) よりも遠くの車両や、5 m (16 ft.) よりも近くの車両を検出できないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さや車両内でのデバイスの配置を正しく示していない場合、FCWS 機能は正しく動作しないことがあります ([カメラの位置を合わせる, 8 ページ](#))。

## 車線逸脱警告システム

### △ 警告

車線逸脱警告システム ( LDWS ) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。LDWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、[garmin.com/warnings](http://garmin.com/warnings) を参照してください。

LDWS 機能では、無意識に車線境界をはみ出している可能性をデバイスが検出したときに警告を出します。たとえば、塗装された車線境界を越えると、デバイスが警告を発します。LDWS 機能は、車速が 65 km/h ( 40 mph ) を超えている場合にのみ警告を出します。警告は画面の左側または右側に表示され、どちらの車線境界をはみ出したのかを示します。



注：最高の LDWS 性能を得るには、取り付け位置オプションを設定して、自車内のデバイスの位置を示す必要があります。

### カメラの配置を設定する

このデバイスは、フロントガラスまたはダッシュボードの左、中央、または右に取り付けることができます。最高の LDWS 性能を得るには、取り付け位置オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

- 1 > カメラ > 取り付け位置 > 取り付け位置の順に選択します。
- 2 デバイスの位置を選択します。

## 車線逸脱警告の性能に関するヒント

車線逸脱警告システム ( LDWS ) の性能は、複数の要因により影響を受けます。状況によっては、LDWS 機能で車線逸脱を検出できないことがあります。

- LDWS 機能は、車速が 65 km/h ( 40 mph ) を超えている場合にのみ警告を出します。
- LDWS 機能は、高速道路ランプや合流車線など、特定の種類の道路では警告を発しません。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さや車両内でのデバイスの配置を正しく示していない場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります ( カメラの位置を合わせる , 8 ページ )。
- LDWS 機能では、車線区画線をはっきりと連続して視認できる必要があります。
  - 車線区画線が雨、霧、雪、大きな影、太陽やヘッドライトの眩しさ、道路工事、またはその他の視覚的な障害物により遮られている場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
  - 車線区分線の位置が合っていない、欠落している、またはかなり摩耗している場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
- LDWS 機能では、極端に広い、狭い、または曲がりくねった道路では、車線逸脱が検出されないことがあります。

## 警告およびアラート記号

### △ 警告

車両のプロフィール特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

## 制約に関する警告

	車高
	重量
	長さ
	幅
	トレーラーの高さ
	トレーラーの重量
	トレーラーの長さ
	トレーラーの幅
	ポートトレーラー禁止
	キャンパー禁止
	トレーラー禁止
	プロパン禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

## 道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

## アラート

	重量検査所
	モーターホームについては検証されていない道路

## 位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- ・ デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、 検索を選択します ([検索バーを使用して位置を検索する, 18 ページ](#))。
- ・ 住所を検索するには、[住所を検索する, 19 ページ](#)。
- ・ カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、[カテゴリーを選択します \(カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ\)](#)。
- ・ 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある📍を選択します ([検索エリアを変更する, 20 ページ](#))。
- ・ 保存済み位置情報を表示および編集するには、[保存済みを選択します \(位置を保存する, 24 ページ\)](#)。
- ・ 検索結果から最近選択した場所を表示するには、[最近表示した項目 \(最近検索した位置を表示する, 23 ページ\)](#)を選択します。
- ・ RV 駐車場やキャンプ場を検索するには、[キャンプ場 \(キャンプ場の検索, 21 ページ\)](#)を選択します。
- ・ Tripadvisor® トラベラー評価を参照および検索するには、[Tripadvisor を選択します \(Tripadvisor, 22 ページ\)](#)。
- ・ 特定の地理座標に移動するには、[座標を選択します \(座標を使用して位置を検索する, 23 ページ\)](#)。

## 検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

1 目的地検索を選択します。

2 検索バーで [検索](#)を選択します。

3 検索語の全体または一部を入力します。

検索語の候補が検索バーの下に表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
- ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
- ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
- ・ 入力したテキストを使用して検索するには、 を選択します。

6 必要に応じて、位置を選択します。

# 人気スポット

## 注記

Garmin は TripAdvisor または Michelin® 情報の正確性または適時性について責任を負いません。ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

人気スポット検索機能では、Tripadvisor および Michelin の主要ポイントと評価の両方が対象とされ、一般施設の包括的なリストが表示されます。検索結果は、カテゴリー、評価、ルートからの距離でフィルタリングできます。

注： TripAdvisor および Michelin ジャンル別施設は利用できない地域もあります。

## 人気スポット検索を実行する

- 1 人気スポットを選択します。
- 2 表示された関心スポットをカテゴリーまたは評価でフィルタリングするには、検索フィルタを選択します(オプション)。
- 3 Qを選択し、検索項目を入力します(オプション)。

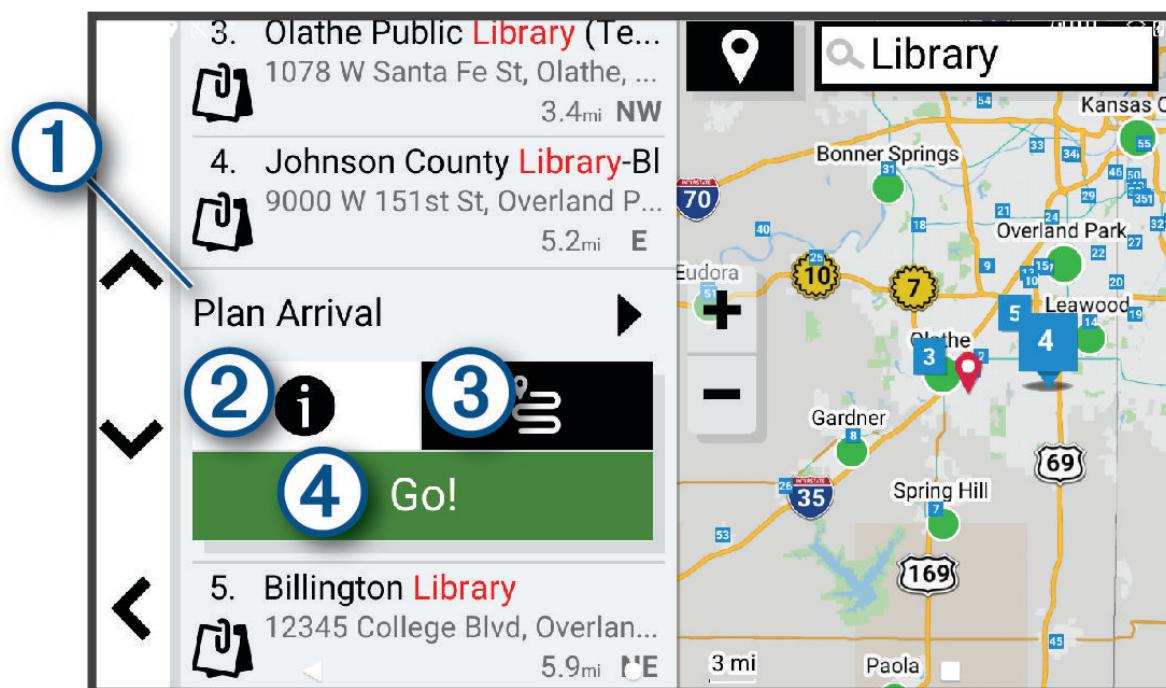
## 住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

## 場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

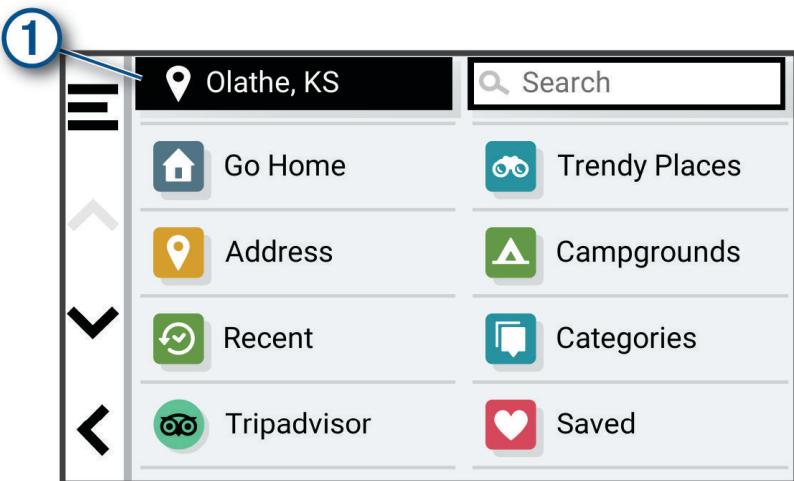


<b>①</b>	到着計画 選択して、到着計画ツールを使用します。
<b>②</b>	<b>i</b> 選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。
<b>③</b>	<b>📍</b> 選択すると、(ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する、26 ページ)機能を使用してその場所へのルートが作成されます。
<b>④</b>	Go ! 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

## 検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが📍の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

## ジャンル別施設

### 注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されたガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

### カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

## カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。

クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。

- ・必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

## キャンプ場の検索

### 注記

ユーザーはキャンプ場に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

目的地検索 > キャンプ場を選択します。

## RV 駐車場を検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

目的地検索 > PlanRV™ Parks の順に選択します。

## RV サービスを検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

目的地検索 > PlanRV™ Services の順に選択します。

## 国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスマodelには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

### 注記

ユーザーは国立公園に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

1 目的地検索 > 国立公園の順に選択します。

国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。

2 検索を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます（オプション）。

3 国立公園を選択します。

公園内の機能や施設のカテゴリーリストが公園名の下に表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・公園までのナビゲーションを開始するには、Go！を選択します。

- ・公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、①を選択します。

- ・公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下のリストからカテゴリーを選択して、場所を選択します。

## 国立公園の機能と施設を探索する

北米の製品モデルでは、国立公園内で利用できる主要な場所や設備に関する詳細情報を調べたり、公園内の特定の場所に移動できます。例えば、キャンプ場、ランドマーク、ビジターセンター、人気のアトラクションなどを検索できます。

1 場所検索の結果から、国立公園を選択します。

公園の機能と施設のカテゴリーが一覧で表示されます。

2 カテゴリーを選択します。

3 場所を選択し、Go！を選択します。

## Foursquare®

### 注記

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 ( POI ) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

### Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

目的地検索 > Foursquare® の順に選択します。

### Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。

2 **i** を選択します。

## Tripadvisor

### 注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 ( POI ) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト ( レストラン、ホテル、アトラクション ) の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

### Tripadvisor ジャンル別施設 ( POI ) を検索する

1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。

そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。

4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、結果を並べ替えるを選択します( オプション )。

5 **Q** を選択し、検索項目を入力します( オプション )。

### 場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 ( POI ) へのルートを作成できます。

1 目的地検索 > 検索の順に選択します。

2 場所の名前を入力し、**Q** を選択します。

3 場所を選択します。

場所内にある POI のカテゴリリストが表示されます。

4 カテゴリ、場所を選択し、**Go !** を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

## 場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 ❶ > この場所を詳細に調査するを選択します。

## 検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

### 交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

### 座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて  を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 座標を選択します。
- 4 緯度と経度の座標を入力し、完了を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 座標を場所として保存するには、保存を選択します。
  - ・ その座標までのルートを開始するには、Go！を選択します。

### 最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

### 最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

### 現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

### 緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、または ガソリンスタンド を選択します。  
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、Go！を選択します
  - ・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、❶を選択します。

## 現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2  > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

## ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

## ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 完了を選択します。

## 位置を保存する

### 位置を保存する

- 1 位置を検索します ([カテゴリーを入力して位置を検索する](#), 20 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3  > 保存の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、完了を選択します。
- 5 保存を選択します。

### 現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 OK を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。

### 保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5  > 編集の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 名前を選択します。
  - ・ 電話番号を選択します。
  - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
  - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、[地図記号の変更](#)を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

## 保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 ①を選択します。
- 4 ≡>編集>カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

## 保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 ≡>削除を選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除>はいを選択します。

# ルートに従う

## ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- ・デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 26ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 30ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ・デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ・ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 25ページ)。
- ・使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます(ルートを形成する, 29ページ)。
- ・ルートには複数の目的地を追加できます(ルートに場所を追加する, 29ページ)。

## ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します(位置の検索と保存を行う, 18ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、Go!を選択します。
  - ・ルートの経路を編集するには、≡>➕を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します(ルートを形成する, 29ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 27ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 29ページ)。

## 地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。  
地図上に位置マーカー（色つきのドット）が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 位置マーカーを選択します。
  - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 Go ! を選択します。

## ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する

ご使用のデバイスで、カーブやヒルが多い道を含み、幹線道路が少ないルートを計算できます。この機能により、ドライブを楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 スライダーを使用して、ルートの距離を増減させます。
- 6 必要に応じて を選択して、ルートにシェイピングポイントを追加します。
- 7 Go ! を選択します。

## 帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

## 自宅の場所を編集する

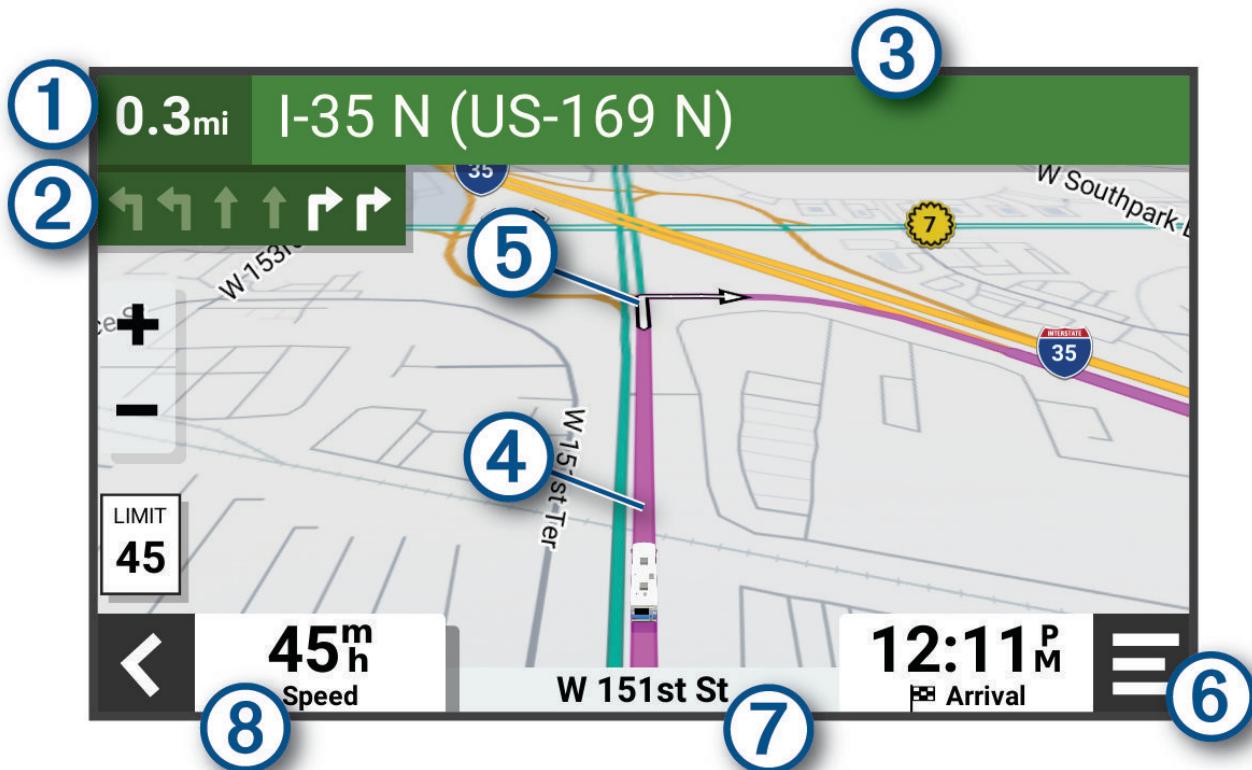
- 1 目的地検索 >  > 自宅登録を選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

## ルート探索方法を変更する

- 1  > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ターンバイタンを選択すると、一番早く目的地に到達できる道でルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
  - ・ 直行を選択すると、オフロード、ポイント間のルートを直線で計算します。

## 地図上のルート

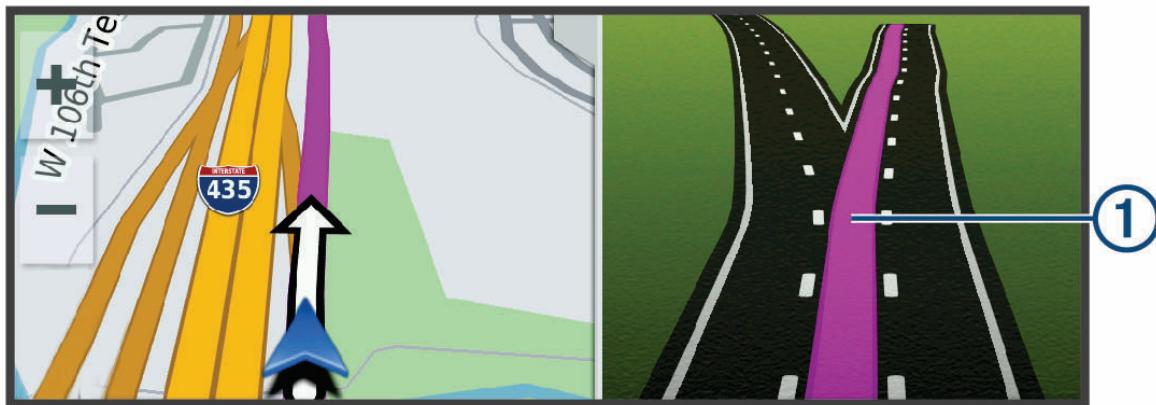
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① 次のアクションまでの距離。
- ② ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび(利用可能な場合)走行すべきレーンを示します。
- ③ 次のアクションに関連する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。
- ⑦ 走行中の道路の名前。
- ⑧ 車速。

## アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



## 方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

### 1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、≡ > 方向転換を選択します。
- 地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

### 2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

## 地図にルート全体を表示する

### 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

### 2 [ ]を選択します。

## 目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- [ ]は地図上の目的地の場所を示し、音声プロンプトが目的地に近づいていることを知らせます。
- RV 車両プロフィールを使用しているときに一部の目的地に近づくと、デバイスは自動的に RV 目的地（駐車場など）への到着を計画するように促します。マップ上の推奨ポイントを選択し、Go！を選択して目的地まで移動できます。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しない場合は、≡ > 停止の順にを選択してルートを終了できます。

# アクティブルートを変更する

## ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ルートをナビゲートしている必要があります ([ナビゲーションを開始する, 25 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

**ヒント：**複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、ルートプランナーを使用して、ルートの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートプランナー, 42 ページ](#))。

1 地図から > 目的地検索の順に選択します。

2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 18 ページ](#))。

3 位置を選択します。

4 Go ! を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。

- ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。

- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

## ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 25 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図で > ルートの編集 > ルートを形成の順に選択します。

**ヒント：** を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。

2 > を選択します。

3 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。

- シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、を選択します。

## 迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

1 地図で、 > ルートの編集を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。

- ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

## ナビゲーションを停止する

地図で、 > 停止を選択します。

## 推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 52 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

## 遅延、有料道路、およびエリアを回避する

### ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります (スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[ トラフィック設定 ] でこのオプションを無効にしている場合 (トラフィック設定, 52 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、≡ > トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 3 Go! を選択します。

### 有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 ⚙ > ナビゲーション > 回避 > 通行料金の順に選択します。
- 2 OK を選択します。

### 道路の回避機能

- 1 ⚙ > ナビゲーション > 回避の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、保存を選択します。

### ルート上の環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

この機能を使用する前に、環境ゾーン車両プロファイルをデバイスに追加する必要があります (環境ゾーン車両プロファイルの追加, 7 ページ)。

ルート上の環境ゾーンを回避するには、ルートを開始する必要があります。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

デバイスにメッセージが表示されたら Go! を選択して、代替ルートを利用します。

### カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

### 道路を回避する

- 1 ⚙ > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避道路の追加を選択します。
- 3 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 4 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 5 完了を選択します。

## エリアを回避する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避を選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。  
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

## カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

## カスタム回避を削除する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
  - ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

## 地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 27 ページ](#)) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
  - ・ ズームインまたはズームアウトするには、 または  を選択します。
  - ・ ノースアップ表示、2D表示、3D表示を切り替えるには、 を選択します。
  - ・ ルートプランナーを開くには、 ([ルートプランナー, 42 ページ](#)) を開きます。
  - ・ ルートを開始するには、地図上の場所を選択し、Go!を選択します ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 26 ページ](#))。

## 地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

**停止:** アクティブルートのナビゲーションを停止します。

**カメラ:** ダッシュカーナビのコントロール表示し、前方衝突警告および車線逸脱警告を表示します。また、ダッシュカーナビビューファインダーと運転支援設定を開くこともできます。

**ルートの編集:**迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 29 ページ](#))。

**ナビをミュートにする:** デバイスの音声をミュートします。

**次の都市まで:** アクティブルートや高速道路に沿って今後の都市やサービスを表示します ([次の都市まで, 33 ページ](#))。

**コースポイント:** ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 32 ページ](#))。

**Elevation:** 今後の高度変化を表示します。

**トラフィック:** ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 34 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスマルチモードでは利用できません。

**出張データ:** 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 33 ページ](#))。

**トラックレコーダー:** アクティブルートのトラックデータを表示します。

**方向転換:** ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 28 ページ](#))。

**スマートフォン:** 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 40 ページ](#))。

**天気:** エリアの天気状況を表示します。

**ミュージック:** メディアコントロールとメディア情報を表示します。

**到着計画:** 目的地の地図を表示して、トラックの目的地を見つけることができます。

**Pilot Flying J:** ルートに沿って今後の Pilot Flying J Travel Centers™を表示します。

注：この機能は北米でのみ利用可能です。

## 地図ツールを表示する

1 地図で  を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

## この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

カテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

## この先の場所を表示する

1 地図から  > コースポイントを選択します。

走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

## [ この先 ] カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図で、 > コースポイントを選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3  を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
- ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

## 次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [ 次の都市まで ] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

## この先の都市や出入口サービスの表示

1 地図で、 > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。

3 場所を選んで、Go！を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

## トリップ情報

### 地図からトリップデータを表示する

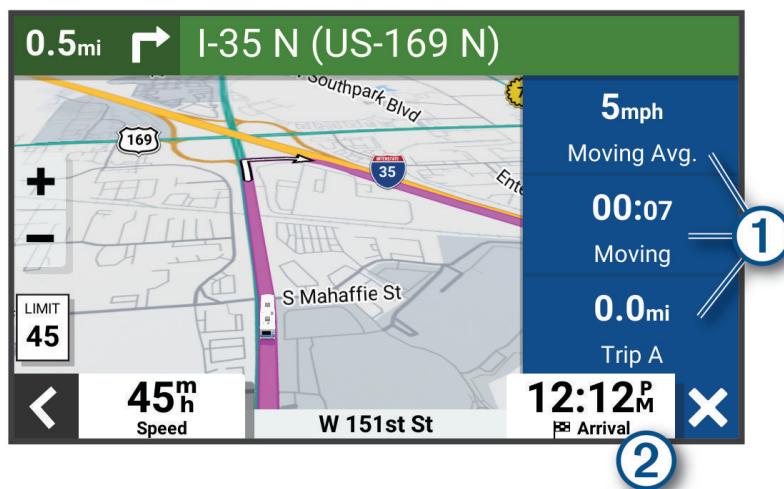
地図上にトリップデータを表示するには、[ 地図ツール ] メニューにこのツールを追加する必要があります。

地図から、 > 出張データを選択します。

## 地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する

トリップデータ地図ツールを使うと、地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示できます。

- 1 地図から、 > 出張データを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。



- トリップデータツールでデータフィールドを選択し ①、フィールドに表示する情報を選択します。
- カスタマイズ可能な地図データフィールドを選択し ②、フィールドに表示する情報を選択します。

## トリップデータを表示する

トリップデータツールには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、スピードを選択します。

## トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2  > フィールドのリセットを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
  - 全データのリセットを選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
  - オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。
  - 最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。

## 進行方向の交通事故を表示する

### 注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([トラフィック](#), 41 ページ) を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > トラフィックの順に選択します。
- 2 地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。

## 地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

## 交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

## 地図をカスタマイズする

### 地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1  > 地図の表示 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

### 地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。  
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

### 地図表示方法を変更する

- 1  > 地図の表示 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ トラックアップ を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
  - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
  - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。

## ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

### △ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報（ライブトラフィックデータや天気情報など）を受信することができます。

**ライブトラフィックデータ:** 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します（[トラフィック](#), 41 ページ）。

**天気情報:** リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します（[天気予報を表示する](#), 41 ページ）。

**スマート通知:** スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

**ハンズフリー通話:** デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

**位置情報をデバイスに送信:** スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

## スマートフォンとペアリングする

Garmin デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能、35 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 Garmin デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m ( 10 ft. ) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

## Bluetooth 機能を無効にする ( Android™ )

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
  - ・ ハンズフリー通話のみを無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、通話チェックボックスをオフにします。

## アプリの通知を表示または非表示にする ( Android )

Garmin Drive アプリを使用して、Garmin デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > 通知の順に選択します。  
スマートフォンアプリのカテゴリーのリストが表示されます。
- 3 カテゴリーを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

## Bluetooth 機能を無効にする ( iPhone® )

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
  - ・ ハンズフリー通話を無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、通話チェックボックスをオフにします。

## 通知カテゴリを表示または非表示にする ( iPhone )

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 スマートフォンサービスを選択します。  
**ヒント**：サービスがアクティブな場合は、 が色付きで表示されます。
- 3 スマート通知を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

## スマートフォンでビデオや写真を表示する

スマートフォンでビデオや写真を表示するには、Garmin デバイスを Garmin Drive アプリとペアリングする必要があります ([スマートフォンとペアリングする, 36 ページ](#))。

注：ビデオや写真を表示している間は、デバイスが録画を停止し、アラートが無効になります。

1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、**ビデオと写真**を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 保存した写真やビデオを表示するには、**保存済み**カテゴリーからファイルを選択します。
- 保存されていない新しいビデオ映像を表示するには、**一時保存**カテゴリーからビデオを選択します。

## スマートフォンを使用したビデオや写真の削除

1 スマートフォンに保存されているビデオや写真のリストを表示しているときに、**選択**を選択します。

2 1つ以上のファイルを選択します。

3 を選択します。

## Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各デバイスの横に表示されます。

 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

- グレーのアイコンは、そのデバイスの機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- 色の付いたアイコンは、そのデバイスの機能が接続されていてアクティブであることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Garmin Drive の機能とサービス

## スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、Garmin デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Garmin Drive アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことがあります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます ([Bluetooth 機能のステータスアイコン, 37 ページ](#))。

## 通知を受信する

### △ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリ ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 35 ページ) が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。  
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、表示を選択します。
- 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。  
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。  
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

## 地図の表示中に通知を受信する

### △ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 35 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、X を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。  
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、メッセージを再生を選択します。  
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

## 通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1 ■>スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、▶を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

## Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する

Garmin Drive アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に Garmin デバイスに送信できます。

1 Garmin Drive アプリから目的地検索を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。

入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。

3 検索結果の候補から選択します。

アプリで、地図上に場所が表示されます。

4 ナビゲーションを開始するには、**Go!**を選択します。

Garmin デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

## ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しておりますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 35 ページ)。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

## 電話をかける

### 番号をダイヤルする

1 > スマートフォン > ダイヤルの順に選択します。

2 番号を入力します。

3 ダイヤルを選択します。

### 電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

1 > スマートフォン > 電話帳の順に選択します。

2 連絡先を選択します。

3 通話を選択します。

### 施設に電話をかける

1 > スマートフォン > カテゴリーを参照の順に選択します。

2 ジャンル別施設を選択します。

3 > 通話の順に選択します。

## 電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または無視を選択します。

## 通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

1  > スマートフォン > 通話履歴の順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。

3 通話を選択します。

## 通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面から  を選択して再度開くことができます。地図から発信者を選択することもできます。

・ 会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。

・ オーディオを電話に転送するには、**ナビゲーターで通話中です**を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

・ ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

・ マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。

・ 電話を切るには**通話終了**を選択します。

## 自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#)、24 ページ）。

1  > スマートフォン >  > **自宅電話番号の設定**の順に選択します。

2 電話番号を入力します。

3 完了を選択します。

## 自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

 > スマートフォン > **自宅へ電話**の順に選択します。

## Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も Garmin デバイスに自動的に接続できます。

1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 接続を解除するデバイスを選択します。

3 未接続を選択します。

## ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 電話を選択して、**デバイスを解除**を選択します。

# トラフィック

## 注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます (トラフィック設定, 52 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、[garmin.com/traffic](http://garmin.com/traffic) を参照してください。

## スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- デバイスを Garmin Drive アプリ (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 35 ページ) に接続します。
- Garmin デバイスで、 > トラフィック > トラフィックの順に選択し、トラフィックオプションが選択されていることを確認します。

## トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

-  > トラフィックの順に選択します。
- トラフィックチェックボックスをオンにします。

## アプリケーションを使用する

### デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

-  > 操作マニュアルの順に選択します。  
マニュアルは、ソフトウェアテキスト (言語およびキーボード設定, 52 ページ) と同じ言語で表示されます。
-  を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

## 天気予報を表示する

## 注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気データを受信できます (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 35 ページ)。

注：天気予報を利用できない地域もあります。

-  > 天気の順に選択します。  
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 曜日を選択します。  
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

## 別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > 天気 > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
  - ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

## 気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能、35 ページ)。

- 1  > 気象観測レーダーの順に選択します。
- 2 ▶を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

## 気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能、35 ページ)。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1  > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > 気象警報の順に選択します。

## 道路状況を確認する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能、35 ページ)。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1  > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > 道路状況を選択します。

## ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

## ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができますが、少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1  > ルートプランナー > ルートを作成の順に選択します。
- 2 開始ポイント選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 追加を選択して、他の場所を追加します(オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ>の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

## ルートの場所を編集および並べ替える

- 1 ルートプランナーを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 場所を変更するには、を選択し、新しい場所を入力します。
  - ・ 場所を上下に移動するには、とを選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
  - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、を選択します。
  - ・ 場所を削除するには、を選択します。

## ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1  > ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ルートにシェイピングポイントを追加するには、を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
  - ・ ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

## 保存したルートまでナビゲーションする

- 1  > ルートプランナーの順に選択します。
  - 2 保存したルートを選択します。
  - 3 **Go!**を選択します。
  - 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**OK**を選択します。
  - 5 **開始**を選択します。
- デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

## アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1  > ルートプランナー > **マイアクティブラート** の順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。  
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 **OK**を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます（オプション）。

## ロイヤルティプログラム

Garmin デバイスから、Pilot Flying J Travel Centers を含む米国の旅行代理店の一部から、ロイヤルティプログラムにアクセスできます。Garmin デバイスのロイヤルティプログラムアプリを使用して、報酬ポイントの残高やその他のロイヤルティプログラム情報を確認できます。ロイヤルティプログラムの機能を有効にするには、Garmin Drive アプリでロイヤルティプログラムアカウントにサインインします。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

## サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「サービスカテゴリーを追加する、44 ページ」）。

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 完了を選択します。

## サービスカテゴリーを追加する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、完了を選択します。

## サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

## サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3 > カテゴリーネーム変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

## サービスの記録を編集する

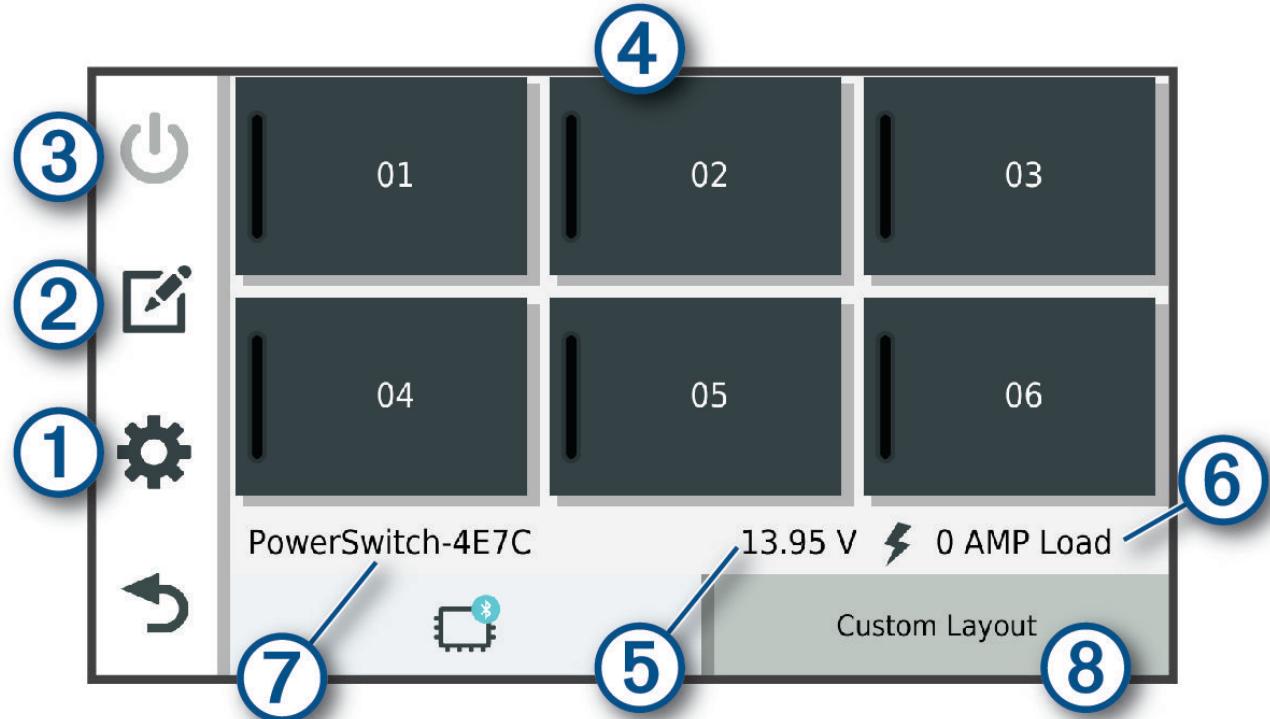
コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

## サービスの記録を削除する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

## Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

### 電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

### すべてのスイッチをオフにする

を選択します。

## ボタンのカスタマイズ

- 1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 2 カスタマイズするボタンで、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ボタンの名前を変更するには、ボタンラベルフィールドを選択し、名前を入力します。
  - ・ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
  - ・ボタンの色を変更するには、色を選択します。
  - ・ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
  - ・スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
  - ・制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。
- 4 <を選択します。
- 5 完了を選択します。

## スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイスに接続する必要があります。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

- 1 を選択します。
- 2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。
- 3 制御入力を選択します。
- 4 1 つ以上のスイッチを選択します。

## カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

- 1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。  
デバイスが編集モードになります。
- 2 を選択します。

## カスタムレイアウトヘボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 [ 追加 ] ボタンを選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ボタンの名前を変更するには、ボタンラベルフィールドを選択し、名前を入力します。
  - ・ ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
  - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 アクションを追加を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
  - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**切り替え**を選択します。
  - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
  - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
  - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
  - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**モーメンタリ**を選択します。
  - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**ストロボ**を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、アクションを追加を選択して、ボタンのアクションを追加します。  
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

## カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで  を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

## カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンの  を選択します。
  - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブの  を選択します。

## ルーチン

ルーチンは Garmin PowerSwitch デバイスを自動化します。互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスでルーチンを定義している場合、ルーチンの条件が満たされると、ルーチンのオン / オフが自動的に切り替わります。たとえば、毎日特定の時間になったとき、または車両が特定の速度に達したときにスイッチをオンにするルーチンを設定できます。ルーチンは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを使用している場合のみ使用できます。

## ルーチンの追加

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、ルーチンを追加を選択します。
- 3 タイミングを選択します。
- 4 トリガーを選択します。
  - ・ 車両が特定の速度に達したときにトリガーするスイッチを設定するには、速度 > 次への順に選択し、画面に表示される指示に従って速度しきい値を入力します。
  - ・ 毎日特定の時刻にトリガーするようにスイッチを設定するには、時間 > 次への順に選択し、時刻を入力します。
  - ・ 日の出にトリガーするようにスイッチを設定するには、日の出時刻を選択します。
  - ・ 日の入りにトリガーするようにスイッチを設定するには、日の入時刻を選択します。
- 5 アクションを選択します。
- 6 デバイス、スイッチ、アクション、およびボタンモードを選択します。
- 7 必要に応じて、スライダーを使用して調光器を調整します。
- 8 保存を選択します。

## ルーチンの編集

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 編集するルーチンのを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ルーチンのトリガーを変更するには、タイミングを選択し、トリガーを選択します。
  - ・ アクションを変更するには、変更するアクションのを選択し、アクションを更新します。
  - ・ ルーチンにアクションを追加するには、アクションを追加を選択し、アクションに関する情報を入力します。
- 4 保存を選択します。

## ルーチンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 削除するルーチンでを選択します。

# 設定

## 地図および車両設定

 > 地図の表示の順に選択します。

**地図車両アイコン:** 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

**運転地図表示:** 地図の表示方法を設定します。

**詳細度:** 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

**地図テーマ:** 地図データの色を変更します。

**地図レイヤー:** 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする, 35 ページ](#))。

**自動ズーム:** 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

**Skip Next Stop Confirmation:** ルート上の場所をスキップするときに表示される確認メッセージを設定します。

**マイマップ:** デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

## 地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント：追加の地図製品を購入するには、[garmin.com/maps](http://garmin.com/maps) にアクセスしてください。

- 1  > 地図の表示 > マイマップの順に選択します。
- 2 地図を選択します。

## ナビゲーション設定

 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

## シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

- 1  > ナビゲーション > GPS シミュレーターを選択します。
- 2 メインメニューで、地図表示を選択します。
- 3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。  
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 現在地変更を選択します。

## ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワーク設定では、Wi-Fi ネットワーク、ペアリングされている Bluetooth デバイス、および Bluetooth 機能を管理できます。

 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

**ブルートゥース:** Bluetooth 無線技術を有効にします。

**ペアリングされているデバイスの名前:** ペアリングされている Bluetooth デバイスの名前はメニューに表示されます。デバイスの名前を選択して、そのデバイスの Bluetooth 機能の設定を変更できます。

**デバイスの検索:** 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

**表示名:** Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

**Wi-Fi:** Wi-Fi テクノロジーを有効にします。

**保存済みネットワーク:** 保存済みネットワークを編集または削除できます。

**ネットワークを検索:** 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 54 ページ](#))。

## 運転者支援の設定

 > 安全運転支援の順に選択します。

**ドライバーアラート:** この先の工事ゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 13 ページ](#))。

**スピード超過アラート:** 制限速度を超えている場合には、警告を発します。

**Reduced Speed Tone:** 制限速度が低下すると警告します。

**ルートのプレビュー:** ナビゲーションを開始すると、ルート上の幹線道路のプレビューを表示します。

**スピードカメラ:** スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

**到着計画:** ルートの終点に目的地の地図を表示します。また、ペアリングしたスマートフォンのモバイルデータを使用して、デバイスで衛星画像をダウンロードできるようにすることもできます。

**前方衝突警告:** 前方衝突警告を有効にして感度を設定できます。感度を高くすると、感度が低い場合よりもアラートが早くなります。

**車線逸脱警告:** デバイスには、意図せず車線を越えた可能性があることを検出すると、警告を発する機能があります。

## 近接アラート設定

**注:** 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI ( 主要ポイント ) がロードされている必要があります。

**注:** この機能を利用できない地域もあります。

 > 安全運転支援 > スピードカメラの順に選択します。

**オーディオ:** 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

**アラート:** アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

## ダッシュカメラの設定

 > カメラを選択します。

**取り付け位置:** 車両の高さとカメラ位置の設定を許可し、ダッシュカメラの位置合わせをします ([カメラの位置を合わせる](#), 8 ページ)。

**起動時に録画:** デバイスをオンにしたときにダッシュカメラでビデオの録画を自動的に開始できるようにします。

**ビデオ解像度:** ダッシュカメラ録画の解像度と画質を設定します。

**事故検出:** 事故検出機能の感度を設定します。運転中の事故を検知すると、デバイスが自動的にビデオを保存します。

**録音する:** ダッシュカメラを使って録画する場合の音声録音を有効または無効にします。

**タイムスタンプ設定:** 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

**録画ファイル:** デバイスが未保存のビデオ映像を削除するタイミングを決定します。ストレージがいっぱいになつたら削除オプションを選択すると、メモリーカードのストレージがいっぱいになると、最も古い未保存のビデオが削除されます。直ちに削除オプションを選択すると、デバイスは 3 分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除されます。これはデータのプライバシー保護に役立ちます。直ちに削除オプションを選択している間は、未保存のビデオをギャラリーに表示することはできません。

## ワイヤレスカメラ設定

ワイヤレスカメラ設定では、ペアリングされた Garmin ワイヤレスカメラとカメラ設定を管理できます。このメニューの設定は、ワイヤレスカメラが Garmin デバイスに接続されている場合のみ表示されます。ワイヤレスカメラと Garmin デバイスとのペアリングの詳細については、ワイヤレスカメラのマニュアルを参照してください。

### バックアップカメラ設定

 > ワイヤレスカメラの順に選択し、バックアップカメラの名前を選択します。

**ビデオを反転:** ビデオを上下または左右に反転できます。

**ガイダンスライン:** カメラのビデオに表示されるガイダンスラインの環境設定を設定します。

**名前を変更:** ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

**デフォルトカメラの設定:** カメラがカメラビューに表示される順序を設定します。リストの一番上にあるカメラがデフォルトのカメラで、カメラビューが表示されるたびに最初に表示されます。

**ペアリングの解除:** ペアリングされているカメラを削除します。

**自動アクティベーション:** Garmin ナビゲーションデバイスの電源を入れるたびに、ナビゲーションデバイスにデフォルトのカメラビューを自動的に表示できるようにします。ナビゲーションデバイスがイグニッション連動電源コンセントに接続されている場合、この機能により、車両の始動時にバックアップカメラを自動的に表示できます。

**ビデオ解像度:** カメラのビデオ画質を設定できます。解像度を高く設定すると、詳細な画像が得られますが、バッテリーの消費量が多くなります。

**注:** この設定は、すべてのナビゲーションデバイス製品モデルで使用できるわけではありません。

## ディスプレイ設定

 > ディスプレイの順に選択します。

**デザイン:** 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

**輝度:** ディスプレイの輝度を調節できます。

**ディスプレイ省電力モード:** バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間 を設定できます。

**スクリーンショット:** デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

## トラフィック設定

メインメニューで、 > トラフィックの順に選択します。

**トラフィック:** トラフィック機能を有効にします。

**現在のプロバイダ:** トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

**サブスクリプション:** 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

**最適なルート:** 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する](#), [30 ページ](#))。

## 単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、 > 単位 / 時間の順に選択します。

**現在の時刻:** デバイスの時間を設定します。

**時間表示:** 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

**単位:** 距離の測定に使用する単位を設定します。

**位置フォーマット:** 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

## 時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動**を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

## 言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから > 言語 / キーボードを選択します。

**音声言語:** 音声案内の言語を変更します。

**テキスト言語:** 画面上のすべてのテキストを選択した言語に設定します。

**注:** テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

**キーボード言語:** キーボード言語を有効にします。

## デバイスおよびプライバシー設定

 > デバイスの順に選択します。

**デバイス情報:** ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

**法規:** 規制のマーキングおよび情報を表示します。

**EULA:** エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

**注:** システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

**ソフトウェアライセンス:** ソフトウェアライセンス情報を表示します。

**デバイステータの報告:** デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

**走行履歴:** 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

**リセット:** 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

## 設定を初期化する

設定のカテゴリーまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリーを選択します。
- 3  > リセットの順に選択します。

## デバイス情報

### E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイス>法規を選択します。

## 仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 55°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給（家庭やオフィスでの使用時限定）
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

## デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。  
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または [www.garmin.com](http://www.garmin.com) から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

## デバイスのメンテナンス

### Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問（FAQ）、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、[support.garmin.com](http://support.garmin.com) を参照してください。

## 地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- ・ デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます（推奨）。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- ・ デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます [garmin.com/express](http://garmin.com/express)。

## Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1  > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 必要に応じて、Wi-Fi を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 ネットワークを検索を選択します。  
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、完了を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

## Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

### 注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続](#), 54 ページ)。  
Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合、 がメインメニューの  アイコンに表示されます。
- 2  > 更新を選択します。  
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
  - ・ 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
  - ・ ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、同意を選択して使用許諾契約に同意します。  
**注：** 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスの外部電源に接続して継続 ([デバイスを充電する](#), 53 ページ)。  
最良の結果を得るには、出力が 2 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。  
**ヒント：** 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

## Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

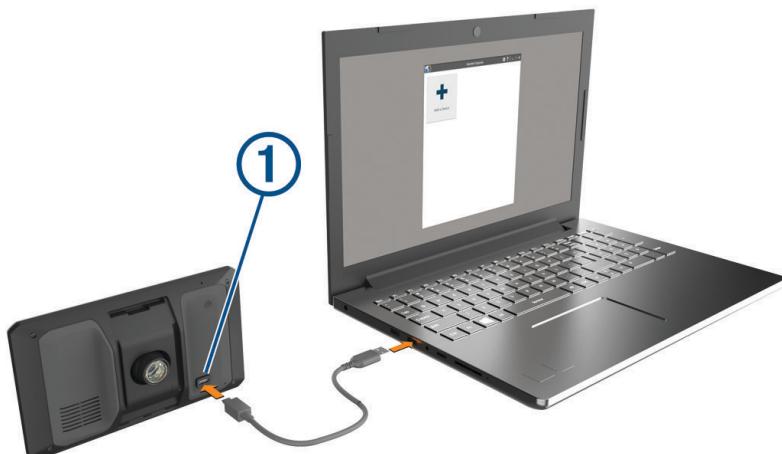
Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 56 ページ)。

2  Garmin Express アプリケーションを開きます。

3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。

ケーブルの小さい方の端は Garmin デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



4 Garmin デバイスでタップしてコンピュータに接続します。

5 Garmin デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、**継続**を選択します。

6 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。

7 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。

セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



## 8 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります（[地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#)、59 ページ）。

## 9 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

## Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

### 1 コンピュータから [garmin.com/express](http://garmin.com/express) にアクセスします。

### 2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウンドロード（Windows）を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウンドロード（Mac）を選択します。

### 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

## デバイスのお手入れ

### 注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

## 外側ケースのクリーニング

### 注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

### 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

### 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

## タッチスクリーンのクリーニング

### 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

### 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

### 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

### 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

## カメラレンズのクリーニング

### 注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

録画ビデオの品質を改善するため、カメラレンズを定期的にクリーニングする必要があります。

- 1 必要に応じてイソプロピルアルコールで湿らせた、傷を付けないレンズクロスでレンズを拭きます。
- 2 レンズを空気乾燥させます。

## 盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。

## デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

## デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

### マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの上部を下に傾けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

### 吸盤からマウントを取り外す

- 1 必要に応じて、マウントを吸盤ボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸盤のボールが外れるまで力をかけます。

### フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きします。

## トラブルシューティング

### 録画したビデオがぼやけている

- ・ カメラレンズをクリーニングします ([カメラレンズのクリーニング](#), 57 ページ)。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

## 録画したビデオが途切れる / 不完全

- ・ カメラおよびビデオの最適な撮影結果が得られるように、速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリカードを使用します。  
低速のメモリカードではビデオの録画速度に追いつかない場合があります。
- ・ カメラへのワイヤレス接続を使用してスマートフォンでビデオを表示している場合は、ワイヤレス干渉が少ない別の場所でビデオを表示するか、ビデオをスマートフォンに転送してみてください。
- ・ 重要な記録をコンピュータまたはスマートフォンに転送し、メモリーカードをフォーマットします。
- ・ デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します([ダッシュカムのメモリカードを挿入する, 2 ページ](#))。
- ・ デバイスを最新のソフトウェアに更新します([地図やソフトウェアの更新, 53 ページ](#))。

## メモリカードが劣化して、交換する必要がある

すべての microSD メモリカードは、上書きが何度も繰り返されると損耗します。カードを定期的にフォーマットすると、耐用年数が伸び、パフォーマンスが向上します。ダッシュカムは継続的に録画するため、メモリーカードを定期的に交換する必要があります([ダッシュカムのメモリカードを挿入する, 2 ページ](#))。お使いのデバイスはメモリーカードのエラーを自動的に検出し、メモリーカードをフォーマットまたは交換する時期になると警告を出します。

メモリカードの耐用期間を延ばすには、以下の対応を実施できます。

- ・ メモリーカードは 6 か月に 1 回以上フォーマットしてください。
- ・ デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します([ダッシュカムのメモリカードを挿入する, 2 ページ](#))。
- ・ 車両を使っていないときは、デバイスの電源をオフにします。  
デバイスがイグニッション連動の車両電源コンセントに接続されていない場合は、ダッシュカムが不要な映像を録画しないように、車両を使っていないときはデバイスの電源をオフにしてください。
- ・ 大容量のメモリーカードを使用してください。  
大容量のメモリーカードはあまり頻繁に上書きされないため、通常は長持ちします。
- ・ 速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリカードを使用します。
- ・ 交換用のメモリーカードは、高品質のメーカー評判の良い販売店から購入してください。

## 吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます([車両への Garmin デバイスの取り付けと電源供給, 3 ページ](#))。

## デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ GPS シミュレーターの電源がオフになっていることを確認します([ナビゲーション設定, 49 ページ](#))。
- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

## デバイスを車両で充電できない

- ・ 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- ・ 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- ・ 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

## 充電しても電池の電力が長持ちしない

- ・画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 51 ページ](#))。
- ・ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 51 ページ](#))。
- ・音量を下げます ([音量を調整する, 6 ページ](#))。
- ・使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([ワイヤレスネットワーク設定, 50 ページ](#))。
- ・使用しないときは、デバイスを省電力モードにします ([デバイスの電源をオンまたはオフにする, 4 ページ](#))。
- ・デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- ・デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

## デバイスがスマートフォンに接続されません

- ・⚙️ > ワイヤレスネットワーク > ブルートゥースの順に選択します。  
[ Bluetooth ] オプションを有効にする必要があります。
- ・スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m ( 33 ft. ) 以内の範囲に電話を持っています。
- ・お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。  
詳細については、[www.garmin.com/bluetooth](http://www.garmin.com/bluetooth) を参照してください。
- ・ペアリングプロセスを再度完了します。  
ペアリングプロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした電話を削除する, 40 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 35 ページ](#))。

## 付録

### 地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、8 ~ 512 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します ([Garmin®デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

### データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注： このデバイスは Windows 7 以降および Mac OS 10.7 以降と互換性があります。

### メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア ([www.garmin.com](http://www.garmin.com)) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

## ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット

ダッシュカメラには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

メモリーカードの耐用期間を延ばすには、少なくとも 6 か月に 1 回はメモリーカードをフォーマットしてください。新品のメモリーカードでも、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

1 > 写真の選択を選択します。

2 > メモリカードのフォーマットの順に選択します。

## デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。

2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

3 Garmin デバイスでタップしてコンピュータに接続しますを選択します。

4 Garmin デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、継続を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

## コンピュータからデータを転送する

1 デバイスをコンピュータに接続します（[デバイスをコンピュータに接続する、60 ページ](#)）。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。

3 ファイルを選択します。

4 [編集] > [コピー] の順に選択します。

5 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

## USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

1 次の手順を実行します。

- Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Apple® コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。

2 コンピュータからケーブルを取り外します。

## GPS 信号ステータスを表示する

を 3 秒間押し続けます。

## 追加の地図を購入する

1 [garmin.com](#) のデバイス製品ページにアクセスします。

2 地図タブをクリックします。

3 画面に表示される手順に従います。

## アクセサリーを購入する

- オプションのアクセサリーは、[garmin.com](http://garmin.com) または Garmin 販売店から入手できます。

## 欧州排出ガス基準

欧州排出ガス基準は、欧州で販売される新車から放出される大気汚染物質の量を制限する排出ガス基準です。車両の排出ガス基準は、車両の操作マニュアル、車両登録文書、または車両のドアフレームの印刷で確認できます。車両の排出ガス基準が見つからない場合は、車両のディーラーもしくはメーカーに詳細をお問い合わせください。

## Garmin PowerSwitch

### △ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持つた、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、Garmin デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

## 取り付けに関する注意事項

- デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

## デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

### 注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVAC などは避けてください。Garmin は、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 選択した場所にマウントを配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、2箇所のネジ位置 ① に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）。
- 一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

## 前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

- 1 前面カバーラッチ①を持ち上げ、反時計回りに回します。



- 2 前面カバーをデバイスから引き出します。



## アクセサリーの接続

### 注記

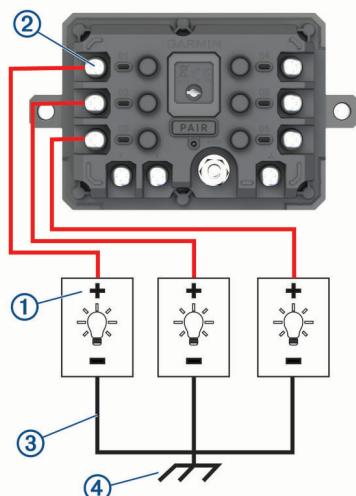
ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

### アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
- 20 ~ 30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG ( 6 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- 10 ~ 20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG ( 4 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG ( 2.5 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
- すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。

- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

### △ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 ( GND ) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

## 制御入力の接続

制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V ~ 18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

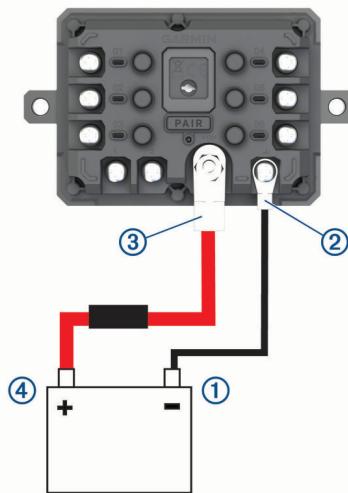
車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

## デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V端子から警告タグを取り外す必要があります。

すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

- 1 同梱されているアース線①の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスのGND端子②に接続します。

- 3 付属の12Vケーブルの小さいリング側をデバイスの+12V端子③に接続します。

- 4 +12V端子の $\frac{3}{8}$ in.ナットを最大トルク仕様4.52 N·m(40 lbf-in.)で締め付けます。

ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

### 注記

端子の損傷を防ぐため、+12V端子を締めすぎないでください。

- 5 12Vケーブル④の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

## Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから1m(3.3 ft.)以内に配置します。
- 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
- 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

## Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 ( 奥行き × 幅 × 高さ )	75 × 125 × 32 mm ( 2.95 × 4.92 × 1.26 in. )
動作温度範囲	-25° ~ 85°C ( -13° ~ 185°F )
無線周波数	2.4 GHz @ 13 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12~16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 <sup>1</sup>

## トラブルシューティング

### 自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。  
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません](#), 65 ページ)。

### アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。  
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。  
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。  
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

<sup>1</sup> このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating) を参照してください。

[support.garmin.com](https://support.garmin.com)